NAGOYA CITY UNIVERSITY HOSPITAL 名古屋市立大学病院

# さくらほっとNEWS

vol.39
平成29年春号


## 南海トラフ 巨大地震から 市民を救うために

～地域中核災害拠点としての取り組み～ … 2

名市大病院のチカラ　vol.7 … 3

日本救急医学会 指導医指定施設に認定… 4

市民公開講座・セミナーのご案内

ご寄附のお願い（さくら基金）

当院の災害派遣医療チーム（DMAT）の皆さん

## 国の方針に基づき、地域医療連携を推進しています。

**国の方針▶医療機関の機能分化**

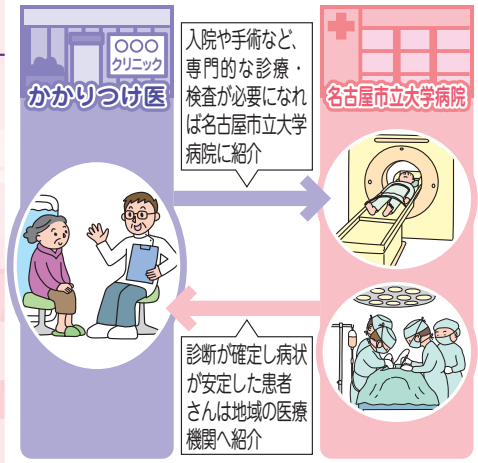
**特定機能病院（名古屋市立大学病院）**
入院や手術などの専門的な診療・検査を含む高度先進医療を担当

**地域の医療機関（かかりつけ医）**
風邪などの日常的な病気や症状が安定した慢性疾患などの患者さんに対する医療を担当

**地域医療連携の推進**

診断が確定し症状が安定した患者さんは地域の医療機関にご紹介しております。

※症状が悪化した場合などは、改めて名古屋市立大学病院へ紹介されます。



# 南海トラフ巨大地震から市民を救うために
## ～地域中核災害拠点病院としての取り組み～

昨年は4月に熊本県や大分県で、10月に鳥取県で大きな地震が発生しました。この地域でも「南海トラフ巨大地震」が近い将来発生すると言われています。当院は「地域中核災害拠点病院」として、このような大災害が発生した時に備え、様々なことに取り組んでいます。

熊本地震の被害の様子(当院職員撮影)

### 災害拠点病院とは

**災害拠点病院に必要な主な条件**
- 重症患者を受け入れられる診療機能
- 診療に必要な施設の耐震性
- 自家発電装置の設置
- 診療に必要な物資や食料の備蓄
- 災害派遣医療チーム(DMAT)の配置

災害拠点病院とは、県が指定する「災害時に医療救護活動の拠点となる病院」のことで、地域の医療機関等との円滑な連携を通じ、重症患者への適切な医療を提供することが求められており、指定を受けるためには左記のような条件が必要です。当院はその中でも、**この地域の災害拠点病院を取りまとめる役割を持つ『地域中核災害拠点病院』に指定**されています。

### 災害発生時に向けた取り組み

#### 災害対策受入訓練の実施

当院では、毎年、災害時の患者受け入れをスムーズに行うための訓練を実施しています。当院の職員や当学の学生を模擬患者とするほか、消防局と連携して実物の救急車を使用するなど、本番さながらの緊張感を持って実施しています。

重傷者の診療を行うブースの様子
緊張感を持って取り組んでいます

訓練には救急車も使用するなど、実際の状況に可能な限り近づけて実施しています

#### 災害派遣医療チーム(DMAT)の配置

災害派遣医療チーム(DMAT)とは、「災害急性期に活動できる機動性を持つトレーニングを受けた医療チーム」のことです。遠方の被災地への派遣支援だけでなく、この地域が被災した際には負傷者の受け入れや重傷者の被災地外病院への広域医療搬送などを中心となって行います。

大規模地震時医療活動訓練の様子
熱田区における訓練では、当院救急科の山岸副部長が本部長を務めました

当院での負傷者受け入れの際にもDMATは中心的な役割を担います

### 災害医療の最前線に立つ病院として

救急科：山岸副部長
(愛知県災害医療コーディネータ)

名古屋市が発表した南海トラフ巨大地震の被害予測によると、**名古屋市南部の広範囲が津波の被害を受ける**ことが想定されています。そのため、地震が発生した場合には、**当院は津波の影響を受けない最前線の災害拠点病院として被災された多くの市民に対し医療活動を行います。**

災害はいつ発生するか分かりません。だからこそ、上記のような取り組みを今後も積極的に実施し、災害が発生した際にスムーズな対応ができるよう努めてまいります。



# 名市大病院のチカラ Vol. 7

## 耳鼻いんこう科
**重度の中耳炎や内耳性難聴に対し、人工内耳・中耳埋め込み手術を積極的に実施**

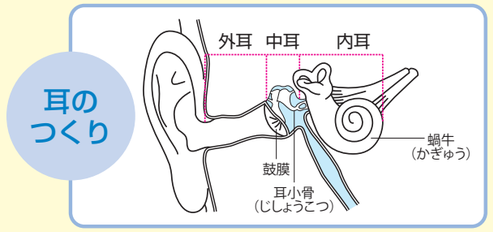
耳鼻いんこう科
村上部長

耳は外耳・中耳・内耳から構成されています。外耳を介して中耳に入った音は、中耳の鼓膜や耳小骨(じしょうこつ)で音を増幅させて内耳に伝え、内耳の蝸牛(かぎゅう)で音を電気信号に変換させて脳に送信し、脳が何の音か認識します。つまり、耳は音を電気信号に変換する超小型精密器官と言え、私たちの生活には欠かせないものです。

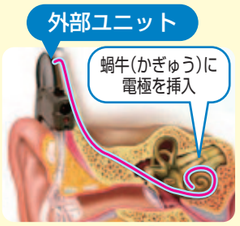
その耳に中耳炎や内耳性難聴を発症することで聴力を失うことがあります。軽度のものであれば手術で回復するのですが、重度のものは簡単にはいきません。そのような状況に対しては、人工内耳や人工中耳を埋め込むことで聴力を取り戻すことができます。

当院では、人工内耳埋め込み手術を既に150例以上実施しています。人工中耳埋め込み手術については、昨年夏に健康保険が使えるようになり、当院は実施機関として認められています。

両方の埋め込み手術について今後も積極的に実施し、少しでも多くの患者さんの聴力を回復させられるよう尽力してまいります。



人口中耳



人口内耳

人口中耳埋め込み後の写真

## 内視鏡医療センター
**最新のレーザー内視鏡・細径経鼻内視鏡を導入し、苦痛の少ない最高レベルの内視鏡診療を提供**

内視鏡医療センター
片岡センター長

最近の内視鏡医療の進歩は目覚ましく、当センターでは最新の内視鏡機器を取り揃え、最高レベルの内視鏡診断・治療を実施しています。

レーザー光線を応用したレーザー内視鏡では、ボタン操作１つで早期胃がんが赤く光り、早期の微小ながん病変を高感度に診断することが可能です(写真1)。

鼻から挿入する細径の経鼻内視鏡は、口から挿入するものよりも身体への負担が少ないため、特に高齢の患者さんにおすすめです。これまでの経鼻内視鏡はやや画質が荒かったですが、当院が使用している最新の内視鏡では、この問題点が改善され高感度な診断が可能です(写真2)。

また、最近ではカプセル内視鏡も目覚ましい発展を遂げており、小腸だけでなく大腸も観察可能なカプセル内視鏡検査も行っています(写真3)。

消化管、胆道・膵、呼吸器、肝臓、整形外科の分野で最新かつ最良の診断・治療が提供できるよう日々取り組んでいます。

写真1
レーザー内視鏡観察で赤く光る早期胃癌

写真2
最新の経鼻内視鏡(右)はこんなに細い!(直径:約6mm)
※左は経口内視鏡(直径:約9mm)

写真3
最新の大腸用カプセル内視鏡はこんなに小さい!(横:約3cm)

## 日本救急医学会指導医指定施設に認定

救急救命センター

当院救命救急センターは、平成29年1月1日付けで日本救急医学会の定める「指導医指定施設」の認定を取得しました。この認定により、当院は「地域の救急医療の中心的・指導的役割を担う救急指導医を育成する施設」になりました。

少子高齢化社会のさらなる進展により、救急医療は今後さらに必要性を増していくと思われます。当院は「市民のための大学病院」として、時代の変化に柔軟に対応しながら、患者さん目線の救急医療を実践してまいります。また、指導医指定施設の認定を受け、名古屋市を含むこの地域の救急医療の充実・強化へこれまで以上に貢献できるよう、広い視野を持った救急医・医療スタッフの育成にも努めていきます。

救命救急センターのスタッフ

「救急車の受け入れを断らない」を信条に軽症から重症まで全ての救急搬送患者を、昼夜を問わず受け入れています。

## 市民公開講座・セミナーのご案内

### 患者さんと御家族のための腎臓病セミナー ～腎不全にならない為には～

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成29年4月2日(日) 13時30分～16時00分 |
| 場　所 | 大ホール(病棟･中央診療棟3階) |
| 内　容 | 患者さんやその御家族などに腎臓病に対する理解を深めていただくためのセミナー |
| 定　員 | 300名(先着順) |
| 担　当 | 名古屋市立大学 大学院医学研究科 心臓･腎高血圧内科学 |

### 患者情報ライブラリーセミナー

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成29年2月21日(火) 14時00分～14時30分 |
| 場　所 | 患者情報ライブラリー(病棟･中央診療棟 B1階) |
| 内　容 | 寝たきりにならないために“ロコトレ”<br>リハビリテーション部　部長　和田 郁雄<br>リハビリテーション部 技師長 村松 直子 |
| 定　員 | 30名程度(先着順) |
| 担　当 | 患者情報ライブラリー |

※次回(4月開催)については当院ホームページ上でお知らせします。

**事前申込不要・費用無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。**

## ご寄附のお願い(さくら基金)

病院事務課

当院では「さくら基金」を設置し、寄附のご支援をお願いしています。

皆様から寄せられた寄附金は、診療研究、人材育成、医療環境の充実などに活用させていただきます。

当基金の趣旨をご理解いただくとともに、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

**問い合わせ先**

病院事務課病院経営係

TEL 052- 858-7113(直通)

※インターネットもご利用いただけます。

発行／名古屋市立大学病院　発行責任者／院外広報誌編集会議（年4回発行）
〒467－8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 TEL 052－858－7116(病院事務課)
このリーフレットは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。